

科目名	スポーツツーリズム論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Sports Tourism Business	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	つかはら ゆうじ	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	塚原 雄二	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	スポーツとツーリズムの関わりとその将来性について学ぶ				
到達目標	スポーツツーリズムの意義を理解し、各種スポーツツーリズムの現状と将来性の評価ができる能力を身につける				
授業概要	・この授業は隔週開催の授業です。 ・スポーツツーリズムについて、その意味、現状、将来性、複数の事例と世界の動向を学び、その全容を把握する。ついでグループワーク・プレゼンテーションを計画・実施する。				
授業計画					
第1回	オリエンテーション（シラバスの確認）第1章 スポーツツーリズムとは何か(定義他)				
第2回	第1章 スポーツツーリズムとは何か(分類他)				
第3回	第2章 スポーツツーリズムの現状				
第4回	第3章 スポーツツーリズムの将来性（スポーツツーリズム活性化のヒント）				
第5回	第3章 スポーツツーリズムの将来性(スポーツにおけるリーダーシップ)				
第6回	第4章 スポーツツーリズムのケーススタディ（ホノルルマラソン他）				
第7回	第4章 スポーツツーリズムのケーススタディ（インバウンド観光客のスポーツツーリズム）				
第8回	第5章 オリンピックを考える(歴史)				
第9回	第5章 オリンピックを考える(TOKYO2020 と PARIS2024)				
第10回	第5章 オリンピックを考える(オリンピックの課題と展望)				
第11回	グループワーク『スポーツツーリズム・コンテンツの事例研究』の事前打ち合わせ (グループ分け、テーマ選び、発表順)				
第12回	第6章 世界のスポーツツーリズム（世界のツーリズムとスポーツの市場）				
第13回	第6章 世界のスポーツツーリズム（各国のスポーツとスポーツツーリズム）				
第14回	グループワーク・プレゼンテーション（発表と Q&A、相互評価）その1				
第15回	グループワーク・プレゼンテーション（発表と Q&A、相互評価）その2				
第16回	定期試験				
授業時間外の 学習	(1) 授業前に、授業用の資料に目を通し。前回までの授業内容を復習しておくこと。(1.5時間程度) (2) 新聞等のメディア、企業、政府等が発信するスポーツやツーリズムに関する情報に注目しておくこと。(1.0時間程度)				
履修条件 受講のルール	ツーリズム事業を幅広く学ぶことを望む人、スポーツ事業の活性化に関心のある人				
テキスト	授業はすべてスライド(授業用資料)を使用して行います。動画等も適宜使用します。 スライド(授業用資料)は事前に大学のポータルサイトを通して配布しますので欠かさずファイルして下さい。				
参考文献・資料	「スポーツツーリズムハンドブック」 日本スポーツツーリズム推進機構編 学芸出版社 (2015 年) その他、授業の中で適宜紹介します。				
成績評価の方法	・定期試験 60%、その他 40%（授業参加度、グループワーク等）を基本として総合的に評価します。				

	・出席回数が規定に満たない場合および授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業日の火曜日 10:00～10:30、12:10～13:00、18:00～18:30 事前にメールで、または授業の前後にリクエストしてください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を生かした授業内容	エアライン15年、ホテル15年、航空商社5年の実務経験をしてきました。この実務経験を生かしてツーリズムサイドからみたスポーツについて、より具体的な内容で授業を進めていくこととします。その中でも海外でのゴルフレジデンシャルやビーチリゾートの開発・運営には直接関わってきたのでよりリアルなお話ができます。
学生へのメッセージ	・ツーリズムを伴うスポーツはツーリズム事業にとって重要性を増しています。ツーリズムとスポーツを結び付けるという創造的な授業ですので楽しみながら一緒に考えていきましょう。 ・やむを得ず欠席する場合、授業内容で質問のある場合、面談を希望する場合、卒業後の進路で相談したい場合、などいつでもメールで連絡してください。yuji.tsukary@gmail.com